9　外国語

学校番号	T2101

平成３１年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	コミュニケーション英語Ｉａ	2	１～４	Viva! English Communication I

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・コミュニケーション英語Ｉａ の授業は、「話すこと」、「書くこと」、「聞くこと」、「読むこと」という４技能の力をつける授業です。教科書の内容だけではなく、学んだ表現を使って、聞いたり読んだりしたことを基に情報や考えなどについて話したり書いたりする活動を多く行います。ペア・ワークや発表など、さまざまな活動を行います。積極的に参加しましょう。

2 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第１～４学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ｉａ」（２単位）

主な教材：上記科目の教科書

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
基本的な語や表現を使って、好き嫌いやできることできないことなど日常的な事柄についてやり取りをすることができる。	インタビューテスト スピーキングテスト	趣味や好き嫌いについて簡単な語や基礎的な表現を用いて書くことができる。	ライティングテスト 定期考査	ゆっくり、はっきりと発音される、基本的な語句や表現からなる３文程度の英文の内容を的確に聞き取ることができる。	リスニングテスト	日常生活で使われる単語で短い文章（携帯メールや招待状など）を理解することができる。	リーディングテスト 音読テスト 定期考査

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 1 (14 時間)	英語でのスピーチの手法や表現について。 （現在形と過去形／疑問文を使った疑問文）	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		スピーチの内容に関心を持っている。 積極的に英語でスピーチをしようとしている。	セクションごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。	ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話をする。	ペアでの言語活動を観察する。 ワークシートの内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		スピーチによく使われている表現を使って、簡単なスピーチをすることができる。	ペアになって、自己紹介ができる。 動詞の現在形・過去形を理解する。	教科書で読んだことに基づき、英語でスピーチができる。	ペアワークやワークシートの内容で評価する。
		「外国語理解の能力」			
		書かれたスピーチの内容について正しく読み取ることができる。	動詞の過去形	小テストやペアワークなどの活動を通して理解度を評価する。	ペアでの言語活動を観察する。 ワークシートの内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		スピーチにふさわしい英語での表現を知っている。 動詞の現在形・過去形についての基本的な知識を身に付けている。	スピーチの仕方（挨拶など）を学ぶ。	動詞の現在形・過去形を理解する。	授業時の復習や定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

4 学習の活動

Lesson 2 (12 時間)	日本で人気のご当地キャラについて、無料通話アプリのチャットを使って話す。 （進行形）	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		学校生活の報告について感心を持ち、意欲的に読んだり聞いたりしている。	現在進行形・過去進行形を使った表現を学ぶ。	ペアワークやアクティビティを通じて、積極的に表現しようとする。	ペアワークや発表においての言語活動を観察する。 ワークシートの内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		伝えたい内容を形式に従って適切に書くことができる。 自分の考えや気持ちを正確に伝えることができる。	現在進行形・過去進行形についての基本的な知識を身に付ける。	英語で文を適切に書くことができる。 現在進行形・過去進行形を使って自分のことや見たことについて表現できる。	ペアワークやワークシートの内容で評価する。。
		「外国語理解の能力」			
		留学生の学校生活について書かれた情報の外洋を読み取ることができる。	現在進行形・過去進行形	本単元では設定しない	定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		英語でチャット（短いやりとり）を書く際にふさわしい表現を知っている。	チャットの書き方について学ぶ。	進行形の使い方を理解している。	授業時の復習や定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 3 (12 時間)	宇宙船内での生活で、できることや気を付けなければならないことなどを知る。 (助動詞)	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		宇宙船の中の生活では地上とどう違うかなど興味を持つ。 助動詞を使った表現を学ぶ	助動詞を使って、未来の予定や自分のできることを話せるようになる。	ペアワークやアクティビティを通じて、積極的に表現しようとする。	ペアでの言語活動を観察する。 ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		助動詞をつかって、自分のできることや週末の予定などを話したり書いたりできる。	ワークシートを用いて、セクションごとに動物の睡眠の特性について、例示する表現と比較表現を用いて簡潔な説明文を書く。	教科書に出てくる会話の内容を読んだり聞いたりして、助動詞を使って自分のことについて話したり書くことができる。	ワークシートの内容を取組状況の判断材料として活用する
		「外国語理解の能力」			
		宇宙船の中の生活でできることや気を付けなければならないことなどを読み取る。	助動（can/will/must/may）の使い方を理解する。	小テストやペアワークなどの活動を通して理解度を評価する。	定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		助動詞の使い方を理解する。	本文中で用いられている表現や助動詞の使い方を確認する。	助動詞の使い方を理解している。	言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

Lesson 4 （3時間）	森・川・海の名人を訪ね、人生経験や生活について聞き書き甲子園に参加する。 （to 不定詞）	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		森を守るために、動物や植物と共生することの大切さや、次の世代へ知識を伝達することの大切さを学ぶ。	不定詞を使った表現を学ぶ。	文脈によって、不定詞の意味の捉え方が変わることを理解している。	ペアでの言語活動を観察する。 ワークシートの内容を取組状況の判断材料として活用する
		「外国語表現の能力」			
		自分にとって大切なことは何かを不定詞をつかって表現することができる。	ワークシートを利用して、自分の好きな食べ物について話す。	本単元では設定しない	定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		自然と共生して生きていうことの大切さを学ぶ。	不定詞の表現を適切に理解できる。	不定詞の表現を適切に理解できる	授業時の復習や定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		不定詞の使い方を理解する。	本文の内容を聞き取る際に必要な文化的背景をワークシートにメモを取りながら理解する。	不定詞の表現を適切に理解できている。	定期考査や小テストにおいて、知識が身についているかを判断する。